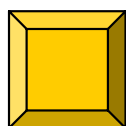


JJCSSから見える短大生の姿
—短大生調査の概要と短大生の特徴—

(2)短大生の特徴

- 相原総一郎(大阪薫英女子短期大学)
- 森 利枝(大学評価・学位授与機構)
- 山田礼子(同志社大学)



発表の構成

1. アメリカの動向

- (1) Spellings委員会の報告書
- (2) College Portraitの公開

2. 学習成果と満足度

- (1) 大学生のプロフィール

- (2) 3つの力と基礎学力

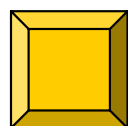
国際力・人間力・知力・基礎学力

- (3) 4つの満足度

学習環境・情報技術・教養教育・個別指導

発表の課題

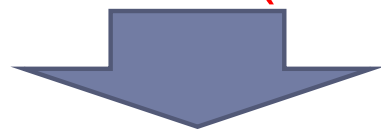
0. アメリカの動向をふまえて、
1. JJCSSとJCSSから短大生をみる
 - ・基本属性と学習成果と満足度について
 - ・JJCSSの学習成果は自己申告
 - ・セクター間(短大と4大)、男女間で比較
2. JJCSSの可能性をみる
 - ・学習成果の構造化
 - 3つの力と基礎学力にまとめる
 - ・満足度の構造化
 - 4つの満足度にまとめる
 - * 生活支援関連の項目は
欠損値が多いため省略



1. アメリカの動向

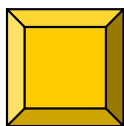
(1) Spellings委員会の報告書

- *A Test of Leadership: Charting the Future of U.S. Higher Education* (米教育省: 2006年9月)
- アメリカ高等教育に6つの勧告
アクセスの拡大・奨学金制度の見直し・説明責任と透明性の確立・革新と質向上・生涯学習の方策・連邦の投資増額
- 大学データベースの作成
高等教育の費用や教育の質、
学生の学習成果(learning outcomes)など



- VSA(Voluntary System of Accountability)
プロジェクト発足



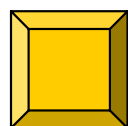


(2) College Portraitの公開

- ・ VSA(Voluntary System of Accountability)による
アメリカ州立大学協会(AASCU)
国有地付与大学協会(A・P・L・U:2009年3月に改称)

内容

- ①大学選択のための基本情報(費用や学位授与など)
- ②大学教育の情報(学習経験や満足度など)
大学生調査(CSEQ・CSS・NSSE・UCUES)より
- ③学習成果の情報
アセスメントテスト(CAAP・CLA・MAPPなど)より

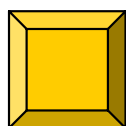


2. 学習成果と満足度

(1) 大学生のプロフィール

① JJCSS2008とJCSS2007より性別と学年

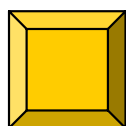
		JJCSS2008 短大生	JCSS2007 女子大生	JCSS2007 女子学生	JCSS2007 男子学生	合計
性別	女子	n 1754	n 197	n 1748	n 0	n 3699
		% 97.4%	% 100.0%	% 100.0%	% .0%	% 65.4%
性別	男子	n 47	n 0	n 0	n 1908	n 1955
		% 2.6%	% .0%	% .0%	% 100.0%	% 34.6%
学年	1年次生	n 725	n 159	n 515	n 639	n 2038
		% 39.1%	% 80.7%	% 29.5%	% 33.5%	% 35.7%
学年	2年次生	n 1129	n 38	n 1233	n 1269	n 3669
		% 60.9%	% 19.3%	% 70.5%	% 66.5%	% 64.3%



②専門分野

		JJCSS2008 短大生	JCSS2007 女子大生	JCSS2007 女子学生	JCSS2007 男子学生	合計
専門 分野	人文系(文学・宗教学・ 心理学)	n 101 % 5.8%	8 4.1%	374 21.7%	118 6.3%	601 10.9%
	社会系(法学・経済学・ 社会科学)	n 100 % 5.7%	13 6.7%	512 29.7%	566 30.3%	1191 21.5%
	理工系(理学・工学・農 学・生物学)	n 11 % .6%	1 .5%	247 14.3%	913 48.9%	1172 21.2%
	医学・薬学・保健医療系	n 94 % 5.4%	127 65.5%	339 19.7%	74 4.0%	634 11.5%
	家政系	n 517 % 29.6%	0 .0%	35 2.0%	5 .3%	557 10.1%
	教育系	n 507 % 29.0%	2 1.0%	144 8.4%	94 5.0%	747 13.5%
	芸術系	n 248 % 14.2%	7 3.6%	36 2.1%	9 .5%	300 5.4%
	その他(情報科学など)	n 171 % 9.8%	36 18.6%	36 2.1%	89 4.8%	332 6.0%

合計より高い値のセルを塗りつぶし

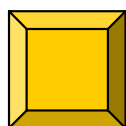


③高校の成績

		JJCSS2008 短大生	JCSS2007 女子大生	JCSS2007 女子学生	JCSS2007 男子学生	合計	
高校 の 成 績	上位の方	n	222	27	479	535	1263
		%	12.5%	14.1%	27.8%	28.5%	22.7%
	中の上くらい	n	412	55	626	557	1650
		%	23.3%	28.6%	36.3%	29.6%	29.7%
	中くらい	n	591	66	349	383	1389
		%	33.4%	34.4%	20.3%	20.4%	25.0%
	中の下くらい	n	309	22	172	182	685
		%	17.5%	11.5%	10.0%	9.7%	12.3%
	下位の方	n	236	22	97	222	577
		%	13.3%	11.5%	5.6%	11.8%	10.4%

合計より高い値のセルを塗りつぶし

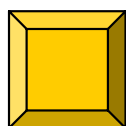




④大学の成績

		JJCSS2008 短大生	JCSS2007 女子大生	JCSS2007 女子学生	JCSS2007 男子学生	合計	
大学の 成績	上位の方	n	118	11	98	149	376
		%	7.1%	6.3%	6.1%	8.5%	7.2%
	中の上くらい	n	275	33	344	331	983
		%	16.5%	19.0%	21.5%	18.8%	18.9%
	中くらい	n	673	80	634	572	1959
		%	40.4%	46.0%	39.6%	32.4%	37.7%
	中の下くらい	n	322	28	326	374	1050
		%	19.3%	16.1%	20.4%	21.2%	20.2%
	下位の方	n	277	22	198	337	834
		%	16.6%	12.6%	12.4%	19.1%	16.0%

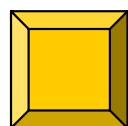
合計より高い値のセルを塗りつぶし



⑤回帰性

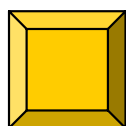
		JJCSS2008 短大生	JCSS2007 女子大生	JCSS2007 女子学生	JCSS2007 男子学生	合計	
回 帰 性	かならず進学する	n	166	16	152	158	492
		%	9.4%	8.6%	8.9%	8.6%	8.9%
	たぶん進学する	n	502	54	595	531	1682
		%	28.3%	28.9%	34.8%	28.9%	30.5%
	たぶん進学しない	n	405	49	472	551	1477
		%	22.8%	26.2%	27.6%	30.0%	26.8%
	絶対に進学しない	n	219	26	174	273	692
		%	12.4%	13.9%	10.2%	14.8%	12.6%
	わからない	n	481	42	316	326	1165
		%	27.1%	22.5%	18.5%	17.7%	21.2%

合計より高い値のセルを塗りつぶし



まとめ（1）大学生のプロフィール

- ・1・2年次生のデータセットを作成(n=6053)。
- ・短大生(n=1854)女子大生(n=197)4大女子(n=1748)4大男子(n=1908)の4類型を比較。(欠損値 346)
- ・専門分野はセクターと男女で大きな偏り。
- ・高校の成績:短大生は中位から下位が多い。4大生は中位から上位が多い。ただし、男子は下位も多い。
- ・大学の成績:中位が多い。短大生は下位も多いが、4大生も中の下や下位が多くなる。
- ・回帰性:短大生は「わからない」がもっとも多い。
どちらかといえば短大生の方が高い傾向。
- ・時間配分は要旨集録と資料編に掲載。



2. 学習成果と満足度

(2) 3つの力と基礎学力

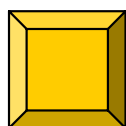
[21] 入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。

(それぞれ1つを選んで○をつけてください)

	大きく 増えた	増えた	変化 なし	減った	大きく 減った
1. 一般的な教養 5 4 3 2 1 ..
2. 分析や問題解決能力 5 4 3 2 1 ..
3. 専門分野や学科の知識 5 4 3 2 1 ..
4. 批判的に考える能力 5 4 3 2 1 ..
5. 異文化の人々に関する知識 5 4 3 2 1 ..
6. リーダーシップの能力 5 4 3 2 1 ..
7. 人間関係を構築する能力 5 4 3 2 1 ..

以下省略





① 3つの力

因子分析

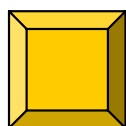
	第1因子	第2因子	第3因子
1 国民が直面する問題の理解	0.660	.113	.195
2 地域社会が直面する問題の理解	0.653	.169	.153
3 グローバルな問題の理解	0.636	.084	.219
4 異文化の人々に関する知識	0.580	.181	.241
5 異文化の人々と協力する能力	0.570	.274	.123
6 人間関係を構築する能力	.146	.808	.170
7 他の人と協力して物事を遂行する能力	.165	.742	.205
8 リーダーシップの能力	.259	.492	.194
9 分析や問題解決能力	.212	.186	.717
10 一般的な教養	.255	.142	.660
11 専門分野や学科の知識	.167	.218	.452

注) 因子抽出法: 主因子法 回転法: Kaiser の正規化を伴うバリマックス法

因子数は固有値1.00以上、因子負荷が0.45以上を太字。累積寄与率=48%。

(問21より)





② 3つの力の命名

山田(2009)

第1因子	1 国民が直面する問題の理解	⇒ 現代的教養知	} 国際力
	2 地域社会が直面する問題の理解		
	3 グローバルな問題の理解		
第2因子	4 異文化の人々に関する知識	⇒ 異文化リテラシー	
	5 異文化の人々と協力する能力		
	6 人間関係を構築する能力		
第3因子	7 他の人と協力して物事を遂行する能力	⇒ 現代的実践知	} 人間力
	8 リーダーシップの能力		
	9 分析や問題解決能力		
第3因子	10 一般的な教養	⇒ 古典的教養知	} 知力
	11 専門分野や学科の知識		

③ 3つの力と基礎学力の照合

〇〇力というと……

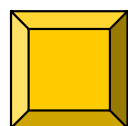
学士力：学士課程教育の構築に向けて(2008)

人間力：人間力戦略研究会報告(2004)

・定義の曖昧さや測定の困難さ 本田由紀(2005)

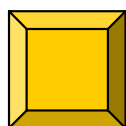
3つの力の比較

人間力	学士力		3つの力と基礎学力	
知的能力的要素	知識・理解	統合的な 学習経験と	知力	国際 力
	汎用的技能		基礎学力	
社会・対人関係力的要素	態度・志向性	創造的な 思考力	人間力	
自己制御的要素				



④ 3つの力：因子得点の比較

		短大生	女子大生	女子学生	男子学生	合計
知力	平均値	-0.1383	0.0405	0.0462	0.1012	0.0047
	標準偏差	0.8153	0.8512	0.7591	0.8454	0.8161
国際力	平均値	-0.0922	-0.0560	0.1112	-0.0043	0.0012
	標準偏差	0.8005	0.8276	0.8535	0.9119	0.8599
人間力	平均値	0.1001	-0.0280	-0.0223	-0.1139	-0.0135
	標準偏差	0.8441	0.7932	0.8696	0.9224	0.8812
n		1776	184	1697	1836	5493

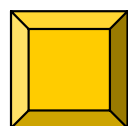


⑤基礎学力の比較

		短大生	女子大生	女子学生	男子学生	合計
批判的に考える能力	n	637	85	900	991	2613
	%	35.1%	45.5%	52.5%	53.2%	46.8%
文章表現の能力	n	680	65	837	817	2399
	%	37.3%	34.6%	48.8%	43.9%	43.0%
外国語の能力	n	251	40	561	524	1376
	%	13.9%	21.4%	32.8%	28.1%	24.7%
数理的な能力	n	208	64	233	679	1184
	%	11.5%	34.2%	13.6%	36.5%	21.2%
コンピュータの操作能力	n	950	102	1158	1336	3546
	%	52.3%	54.5%	67.6%	71.8%	63.6%
時間を効果的に利用する能力	n	729	75	731	672	2207
	%	40.1%	40.1%	42.7%	36.1%	39.6%
卒業後の就職の準備状況	n	846	40	420	398	1704
	%	46.8%	21.4%	24.6%	21.4%	30.6%
卒業後の進学準備状況	n	446	31	212	311	1000
	%	24.9%	16.6%	12.5%	16.7%	18.1%

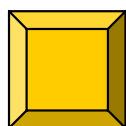
注)「大きく増えた」「増えた」と答えた学生の割合。合計より多い数値のセルを塗りつぶし。(問21より)





まとめ（２） 3つの力と基礎学力

- ・学習成果として3つの力と基礎学力を抽出
国際力・人間力・知力、基礎学力
 - ・「人間力」や「学士力」と照合
JJCSSは国際力の項目に独自性
一方、学習経験の設問は弱い
 - ・3つの力の因子得点を比較
短大生 人間力 VS 4大生 知力
 - ・基礎学力の比較
短大生 卒業後の準備 VS 4大生 汎用的能力
(キャリア教育)
- 短大生と4大生で学習成果の傾向が異なる



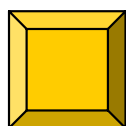
2. 学習成果と満足度

(3) 4つの満足度

[19] あなたは、本学の次のことがらに、どの程度満足していますか。

(それぞれ1つを選んで○をつけてください)

	とても満足	満足	どちらでもない	不満	とても不満
1. 共通教育あるいは教養教育の授業……	…5…	…4…	…3…	…2…	…1…
2. 科学や数学の授業……	…5…	…4…	…3…	…2…	…1…
3. 人文学の授業……	…5…	…4…	…3…	…2…	…1…
4. 社会科学の授業……	…5…	…4…	…3…	…2…	…1…
5. 実験室の設備や器具……	…5…	…4…	…3…	…2…	…1…
6. 図書館の設備……	…5…	…4…	…3…	…2…	…1…
7. コンピュータの施設や設備……	…5…	…4…	…3…	…2…	…1…
以下、省略					



① 学習環境

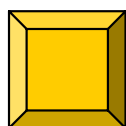
因子分析

	学習環境	情報技術	教養教育	個別指導
1 学生交流の機会	.785	.124	.036	.017
2 学生同士の一体感	.753	.079	.064	.025
3 大学での経験全般について	.742	.179	.192	.067
4 多様な考え方を認め合う雰囲気	.713	.151	.175	.071
5 日常生活と授業の内容との関連	.673	.112	.178	.214
6 他の学生と話をする機会	.668	.127	.076	.056
7 教職員による学生支援体制	.623	.119	.157	.386
8 キャリア計画に対する授業内容の有効性	.612	.080	.189	.251
9 授業の全体的な質	.611	.116	.269	.235
10 教員と話をする機会	.577	.039	.081	.386
11 1つの授業を履修する学生数	.564	.097	.082	.222

注) 因子抽出法: 主因子法 回転法: Kaiser の正規化を伴うバリマックス法 (問19と問30より)

因子数は固有値1.00以上、因子負荷が0.5以上を太字。累積寄与率=55%。





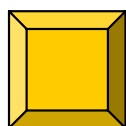
②情報技術・授業内容・個別指導

	学習環境	情報技術	教養教育	個別指導
12 コンピュータの施設や設備	.129	.876	.116	.042
13 インターネットの使いやすさ	.125	.718	.155	.132
14 コンピュータの訓練や援助	.143	.700	.131	.258
15 図書館の設備	.139	.609	.179	.087
16 人文学の授業	.131	.125	.811	.053
17 社会科学の授業	.105	.163	.809	.047
18 共通教育あるいは教養教育の授業	.295	.211	.531	.172
19 科学や数学の授業	.149	.131	.527	.183
20 個人別の学習指導や援助	.266	.286	.204	.653
21 履修や成績に対するアドバイス	.265	.270	.179	.637

注) 因子抽出法: 主因子法 回転法: Kaiser の正規化を伴うバリマックス法 (問19と問30より)

因子数は固有値1.00以上、因子負荷が0.5以上を太字。累積寄与率=55%。

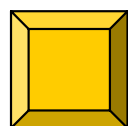




③ 4つの満足度の比較

		短大生	女子大生	女子学生	男子学生	合計
学習環境	平均値	0.294	-0.047	-0.209	-0.320	-0.004
	標準偏差	0.943	0.915	0.819	0.888	0.944
情報技術	平均値	-0.021	0.481	0.094	-0.045	0.010
	標準偏差	0.843	0.780	0.955	1.029	0.928
教養教育	平均値	-0.155	0.397	0.166	0.105	0.005
	標準偏差	0.745	1.017	0.926	1.073	0.912
個別指導	平均値	0.159	0.243	-0.240	-0.113	-0.005
	標準偏差	0.717	0.752	0.891	0.891	0.829
n		1659	93	767	1053	3572

注) 合計より高い数値のセルを塗りつぶし。



まとめ（3） 4つの満足度

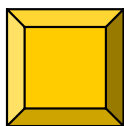
- ・4つの満足度を抽出
学習環境・情報技術・教養教育・個別指導
 - ・4つの因子得点を比較
短大生 学習環境と個別指導
4大生 情報技術と教養教育
- 短大生と4大生で満足度の傾向が異なる

最後に

- ・短大生の特徴を学習成果と満足度に見た。
- ・トラッキングの影響は推測できる。しかし、
キャンパスの風土も影響しているようだ。
(短大生の学習環境の満足度など)

I-E-0
モデル





- ・大学生調査は学生の学習成果や満足度を高める教育プログラムの提供にも役立つ。

ご静聴ありがとうございました。

連絡先：大阪薫英女子短期大学

相原総一郎

soi-aihara@kun.ohs.ac.jp

13日(日)9:10-12:00は【テーマ部会】IV-2部会
大学生調査の目的・方法・課題でJCIRPの発表が
あります。

